

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和2年度 第9号
令和3年2月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

生徒指導特集

直東学園5校は、小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、今年度も引き続き、以下の3点について共通理解を図りながら具体的な取組を進めています。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校とも学校行事や、児童会（生徒会）活動、清掃活動などを中心に、同学年だけでなく異学年でかかわり合う場面、一人一人が集団の一員としての役割を果たす場面を意図的に設定し、リーダーシップやフォロワーシップの育成に努めています。

2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導と情報共有

生徒指導担当教員が集まる生徒指導推進委員会を定期的に行い、子どもの現状や課題を情報共有するとともに、各学校における学年・学級経営の改善に生かしています。また1学期は、オンラインゲームによるトラブル防止や個人情報保護の観点など、児童生徒を取り巻く環境や実態に合うように、「直江津東中学校区生活のきまり」の見直しを図りました。

3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

11月24日（火）に、小6中1の児童生徒が一堂に会し、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。集会を通して、一人一人が「いじめを絶対にしない、見逃さない」という意識を高め、実践につなげていくことをねらいとした集会です。昨年度に引き続き、「いじめ見逃しゼロ県民運動」を支援する個人サポーターに協力要請し、新潟お笑い集団NAMARAの金子ボボさんからお出でいただきました。

当日は、いじめ問題に対する課題を明らかにし、その解決のための「自校のアクションプラン」を発表し合いました。また、後半は、金子ボボさんから講話をいただきました。金子さんは幼少時代、耳で聞いて理解することや人の目を見て話すことが苦手で、周囲の人に「ちゃんとやれよ」と言われ続けて苦しかったこと。それでも、母親の「できることをきちんとやりなさい」という教えを守って生きてきたことについてお話しされました。そして、参加した児童生徒に次の様なメッセージを残してくださいました。

- ・全てできる人はいません、全てダメな人もいません。
- ・人には一つ、他の人にできないことができます。だから、違うところ、よいところを好きになろう。
- ・ないものねだりはしない、いいとこさがしをしよう。いいところはいっぱいあります。

金子さんのお話を聞き、「ありのままの自分でいいんだ」と言う思いを新たに、集会を終了しました。



北諏訪小学校の取組

「相手の気持ちを考えて、進んで仲間とかかわることができる子」を重点目標に掲げ、学級や縦割り班など、様々な集団で活動を行いました。「めあてを明確にする⇒実行する⇒振り返る」を大切にに取り組むことで、子どもたちの中に、相手の気持ちを尊重しようという気持ちが育ってきています。

1. 各学級の工夫が見られたあいさつ運動

10月～11月にかけて、運営委員会の呼びかけであいさつキャンペーンを行いました。各学級で、1日の学校生活を振り返って、朝のあいさつや学校内でのあいさつ、給食時のあいさつなど重点を決めて、全校に呼び掛けました。5年生は、1日のはじまりに交わすあいさつ

「おはよう」に力を入れて取り組みました。毎朝、各教室を訪れて、一人一人に声を掛けていました。日を迫うごとに、笑顔であいさつを交わせるようになりました。



2. 縦割り班で歩き通したほかほか遠足

9月下旬に縦割り班遠足を行いました。オリエンテーションで、6年生を中心に、班のめあてや歩くコースを決め、約10kmの道のりを班単位で歩きました。

事前のSSE活動で、遠足の場面を想定して「ほめる」「感謝する」「気づかう」言葉を考えて、学級の友達に使ってみました。遠足での自分の役割を明確にすることができました。



当日は、上学年の子どもが、低学年のペースに合わせて歩いたり、「がんばれ」と励ましの声を掛けたりするなど、相手を気づかう場面が多く見られました。また、下学年の子どもは、励ましに応えるように頑張って最後まで歩き通すことができました。



保倉小学校の取組

保倉小学校では、自立と共生を目指して今年度は「リーダー・フォロワーの育成」と「いじめ見逃しゼロ」のための取組を計画し、実行してきました。

1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

コロナ禍の1学期。保倉小学校では、例年行っていた体育大会の代わりにスポーツフェスティバルを行いました。種目の選定から役員の仕事まで、子どもたちの力でやり切ることができました。リーダーとなった実行委員を中心に何度も話し合いを重ね、それを実行に移そうと必死に活動したフォロワーたち。まさに主体的な取組でした。



2 校内いじめ見逃しゼロスクール集会

6年生が参加している「いじめ見逃しゼロスクール集会」に、全校児童も何らかの形で参加できないかと考え、この会を実施しました。各クラスで「いじめをなくすためにできること」を考え、その意見を持ち寄って縦割り班で意見交換をしました。その後、班長が意見をまとめて発表したり、総務委員会がプレゼンテーションで提案したりしました。一人一人が自分事としていじめについて考えた貴重な集会となりました。その後、高橋なぐさんの講演を聞き、人とのかわり方について学びました。



有田小学校の取組

有田小学校の今年度の重点課題は、「社会性を育てる」です。その実現に向けて、次のような取組を行ってきました。

人とのあたたかなかわり方の育成

(1)縦割り班での交流活動

＜有田っ子なかよしデー＞

初めてのふれあい活動として、9月に先生方が主催し、「有田っ子なかよしデー」を行いました。先生方が作った14の遊びブースを、子どもたちが縦割り班で協力しながら巡ります。めあてを事前に話し合っ



て決めて、お互いに優しい声掛けをしながら楽しむ姿が、どの班も見られました。

【有田っ子なかよしデー】

12月には、企画委員会主催のウォークラリーを行いました。9月のなかよしデーの時よりも、班長を中心にお互いに声を掛け合い、問題を解いたり、班からはぐれる子どもが出ないようにしたりと、助け合う姿がたくさん見られました。

(2)有田小「いじめ見逃しゼロスクール集会」

11月に生活委員会による劇を通して、「いじめをしない、させない、見逃さない」ことを全校児童に考えてもらいました。今年は、「物隠しはやめよう」という観点から、物を隠すことは人を切ない思いにさせることだと訴えました。

その後、各学級で、いじめをなくしていくためにどんなことを頑張るかを考え、「いじめゼロ宣言」として表し、実践しています。



【生活委員会による劇】



【いじめゼロ宣言の掲示】

春日新田小学校の取組

11、12月の生活目標を「いじめについて考えよう～自分のよさ、友達のを認め、仲良く過ごそう～」とし、6月に立てたいじめ見逃しゼロのめあてについて振り返ったり、人権についての学習をしたりしました。

【校内いじめ見逃しゼロスクール集会】



6月の集会から半年、いじめについて全校で再確認をし、6年生からいじめ見逃しゼロに向けての取り組みを発表してもらいました。6年生が実践している「ハッピーセット」→①ふわふわ言葉を使う ②相手が嫌がらない言葉で注意する ③素直にすぐ謝るの3点について、学年の実態に応じて人権強調句間に取り組み、帰りの会で振り返りました。

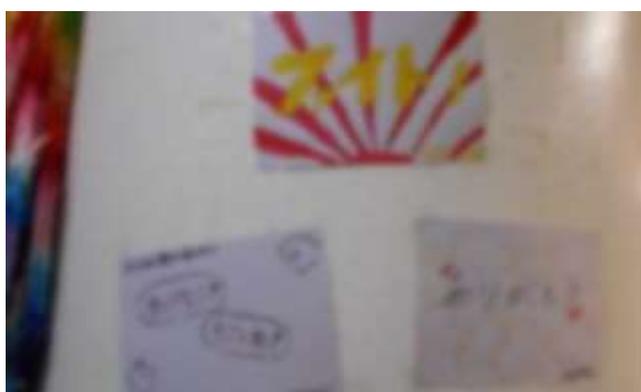
【ふじの実キッズ】



ふじの実キッズでは、各学級で工夫した様々なアトラクションが行われました。なかよし班のメンバーの学級に行き、アトラクションを通して異学年での交流を深めました。普段の縦割り班活動では見られないお互いのよさ、意外な一面を、交流を通して発見することができました。

直江津東中学校の取組

今年度の生徒会スローガン「結実 ～つなげよう 新たな希望～」の実現に向けて様々な取組を行っています。特に11月と12月には「いじめ見逃しゼロ強調月間」の取組として、専門委員会が様々な活動を展開しました。広報委員会では「ふわふわ言葉ミニポスター」を作成し、校内に掲示しました。「ありがとう」「すごいね」「がんばってるね」など、校内に前向きな温かい言葉が溢れました。



1学年委員会では「仲間ともっとつながる活動」と題して様々なことを行っています。話し合い活動や学年レクを通して、仲間の良さに気付いたり、普段話をしたことがないとコミュニケーションをとる活動を行ったりしています。温かな雰囲気の中でレクを行い、充実した時間となりました。



また、生徒だけでなく教職員も週1回を基本に校内生徒指導部会を開催しています。各学年の生徒指導担当が集まり、学年の様子や生徒の現状を情報共有し、協力し合っています。今後も「中学校区生活のきまり」の定着を目標に指導をしていきます。

5年生「マスコミに学ぶ」学習会

12月7日、4つの小学校の5年生155名が参加し、「マスコミに学ぶ」学習会を行いました。今年度はコロナ禍で一堂に会することをせず、ZOOMを使ったオンラインで各校とつながりました。講師として新潟日報上越支社 加藤清也記者とJCV 上越ケーブルビジョン 鶴見幸恵アナウンサーを春日新田小にお招きし、その様子を各校へ配信しました。

5年生は社会科の授業でマスコミの仕事について学習します。その一環でもあり、キャリア教育の視点から将来の職業について考える場としても捉え、この学習会を行いました。

加藤さんからは、小学生のときに好きだったことが職業につながっていることや「新しい」「珍しい」「感動する」をキーワードに情報を集め記事にしていることを教えていただきました。鶴見さんからは、相手が知りたがっていることは何かを考えたり、多くの人に分かるように表現を工夫したりするなど情報の伝え方のコツを教えていただきました。二人の仕事に対する姿勢やプロ意識を実感し、子どもたちは自分の職業観を育んだことと思います。オンラインで、子どもたちの質疑応答や鶴見アナウンサーの用意した早口言葉で各校がつながり、参加する雰囲気を感じ合い、学びを深めました。

各学校の様子



【北諏訪小学校】



【保倉小学校】



【有田小学校】



【春日新田小学校】